

学区の概要

戦国時代、備前・美作の国を席捲し、中国地方で毛利氏と並ぶ雄となった宇喜多氏が、その飛躍の時期、居城とした沼城址（亀山城址）が学区の中央に位置し、本校の裏山は沼城西の丸跡である。この地域は、古代から文化が開け、中世には当時の大商都福岡の荘が約5km東方に栄え、その影響もあり、価値の高い遺跡が存在している。

昭和46年、岡山市に合併し、市の東部に位置することとなった。温暖肥沃な土地を利用してのブドウ栽培が盛んである。近年は、住宅団地の造成が進み、昭和61年には、学区住民待望のJR山陽本線の上道駅が開業した。その後、岡山駅まで12分という利便性で住宅地化に拍車がかかり、岡山市のベッドタウンとしての機能が高まり、世帯数も急増した。

平成12年4月には、岡山市立城東台小学校が分離新設された。

学区の世帯数は1,457世帯、人口は3,819人（平成23年4月現在）である。

児童数及び学級数

	ひまわり	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
女	0	14	13	14	17	16	18	92
男	3	7	15	16	17	11	20	89
計	3	21	28	30	34	27	38	181
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7

町別児童数

	谷尻	草ヶ部	青葉	沼	中尾	中尾向山	中ア尾ビ台オ	上道北方	上フ道ロラル	学区外	計
児童数	2	15	30	16	11	6	89	4	1	7	181